

~ セカンド・アルバム発売記念~

2026年3月3日(火) 19:00開演(18:30開場) ●浜離宮朝日ホール

全席指定: 5,000円(税込) 一般発売 10月17日(金)

ご予約/お問い合わせ:チケットスペース 03-3234-9999(10:00~15:00 ※休業日除く)

チケットスペースオンライン [プレイガイド]

teket(電子チケット)

ブラームス

シューマン



朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990(日祝除く10:00~18:00) チケットぴあ t.pia.jp

チケットびあ t.pia.jp イープラス eplus.jp ローソンチケット l-tike.com



メンデルスゾーン 無言歌集より 「甘い思い出」Op.19-1/「ヴェネツィアの舟歌 第2」Op.30-6 「デュエット」Op.38-6/「失われた幻影」Op.67-2

「葬送行進曲」Op.62-3/「紡ぎ歌」Op.67-4

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第23番「熱情」へ短調 Op.57*

7つの幻想曲集 Op.116* 子供の情景 Op.15*

*新アルバム収録曲

※都合により曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。 ※就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。(要予約) 【託児のお申込み】イベント託児・マザーズ:0120-788-222 ※チケット購入後のキャンセル及び変更はできません。

主催:朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/ヒラサ・オフィス

その音楽が、どこから来て何を訴えかけようとしているのか。一つのメッセージも聴きのがすまいと耳を澄まし、自由に想いを巡らせる。 ただ美しい音に包まれるだけではない。三浦謙司のリサイタルでは、いつもそんな没頭と思索の時間を過ごすことができる。

今回彼が取り上げるのは、まずブラームス晩年の「7つの幻想曲集」Op.116にはじまり、

シューマンの「子供の情景」、メンデルスゾーン「無言歌集」という小品集の数々。

作曲家が自らの内面を見つめながら記していった歌のようなピアノ曲に、三浦はどう寄り添うのだろうか。

そしてベートーヴェンの熱情ソナタ。「ルールや固定観念に縛られるのが大嫌い」だという三浦のことだから、

これほどのマスターピースも、何かにとらわれることなく、自分だけのイマジネーションで練り上げた音楽を聴かせてくれることだろう。

ドイツ生まれの天才たちの作品を通じて、三浦に深く美しい音の世界を見せてもらおう。

高坂 はる香(音楽ライター)

三浦 謙司(ピアノ)

三浦謙司は、英国のピアニスト・マガジンにて「2023年最も注目の5人のピアニスト」に選出され、その卓越した表現力と独自の音楽性で国際的に高く評価されている。2019年、アルゲリッチ審査委員長のもと開催されたロン=ティボー国際コンクールにおいて優勝および3つの特別賞を獲得し、新たな才能としてその名を世界に知られることになる。以降、ベルリン・フィルハーモニー、パリ・ラジオ・フランス・オーディトリアム、モスクワ国際音楽ハウスなど、主要な演奏会場にて演奏を重ねている。

これまでにフランス国立管弦楽団、モスクワ・ヴィルトゥオージ、新日本フィル、東京交響楽団、神奈川フィル、関西フィルなどと共演。ウラジミール・スピヴァコフ、ガーボル・タカーチョナジ、ユベール・スダン、ピエール・ブーレーズ、ガブリエル・フェルツ、イエスコ・シルヴェント、カーチュン・ウォンといった指揮者と共演。室内楽奏者としても積極的に活動しており、アミハイ・グロス、アンドレアス・オッテンザマーなどの著名音楽家と共演している。

1993年神戸生まれ。4歳からピアノを始め、13歳で英国政府主宰の奨学金を獲得、単独渡英しロンドン・パーセル・スクールに入学。ロシャン・マガブ及びウィリアム・フォンのもとでピアノを学ぶ。2011年ベルリン芸術大学にてクラウス・ヘルヴィヒ氏に師事し、研鑽を積む。2012年夏、音楽の世界から一度離れる決意をし、ベルリン芸術大学を中退。日本で様々な仕事をしながらボランティア活動にも参加。2014年、再び音楽への情熱を燃やし、ベルリン ハンス・アイスラー音楽大学に入学、エルダー・ネボルシン氏に師事した。現在では同大学の教員として後進の育成に尽力している。2022年にワーナークラシックス・ジャパンよりデビューアルバム《アイデンティティ》をリリース。2026年初頭には、第2作のリリースが予定されている。

第4回マンハッタン国際音楽コンクール金賞受賞、第1回Shigeru Kawai国際ピアノコンクール 優勝、2017年スタインウェイコンクールベルリン第 | 位をそれぞれ獲得。第9回浜松国際ピアノ コンクールで奨励賞及びにAAF賞を受賞。文化庁長官表彰(国際芸術部門)及び神戸市芸術 文化特別賞を受賞。



〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ

※A2 出口はエスカレーター、A3 出口はエレベーターがございます。

「築地駅」東京メトロ日比谷線(1、2番出口)より徒歩約8分

「東銀座駅」東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分

「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分

「新橋駅」JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1、2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

